


期 日	内 容	説 明
平成25年 8月	サロン活動の見直し	住民のコミュニティ支援が必要と思われる地域・仮設団地を対象に、月1回サロンを開催。
9月	災害公営住宅訪問開始	仮設住宅で定期見守りをしていた災害公営住宅に入居の住民を対象に継続して見守り訪問する。
10月	「消費者被害防止出前講座」を開始	岩手県民生活センターの支援を受け、仮設住民を対象に、消費者被害を未然に防ぐ為の注意点を、サロン形式で開催。各チーム月1回開催。 
10月	「岩手県立大槌病院看護師」による同行訪問変更	週2回から週1回に変更となる。各チーム輪番制。
平成26年 1月	H26年度以降の、同行訪問や今後の外部団体支援によるサロン活動のあり方を協議	○岩手県立大槌病院看護師同行 月1回、各チーム輪番制で継続する。 ○薬剤師会講座サロン 2～3ヶ月に1回、各チーム輪番制で継続する。 ○「NPO 法人世界の医療団」によるサロン活動は、当初「眠りのコツ」、その後「健康のツボ」のタイトルで医師の講話やストレッチ、「笑いヨガ」等の取組をしてきたが、各仮設団地での開催が3回目に入ってきたことから、内容を工夫することにした。

※各種研修

県社協主催の生活支援相談員新人研修、実践研修等の外部研修参加や、大槌町社協生活支援相談員自主研修（接遇や対人援助のソーシャルワークや記録の書き方、介護保険等の公的制度）を随時開催し、相談員のスキルを学ぶ。

※災害公営住宅

H26年1月時点の建設済戸数 125戸（3ヶ所）

H29年度前半までを整備期間として、全体で980戸を建設する計画になっている。